

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2023年4月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2023年 4月 1日発行 通巻360号

ゴールデンウィーク山行に備え
山行計画書を綿密に作成しよう！

4月号目次

・ 目 次	2
・ 会代表者・理事・役員合同会議報告	3
・ 3月理事会報告	9
・ ハイキング委員会リレーエッセイ（ふわくハイキングサークル）	13
・ 房総の山復興プロジェクト活動（ふわくハイキングサークル）	14
・ 山行報告（エッセイ）（君津ケルン山の会）	15
・ クライミング講習案内（教育遭難対策委員会）	17
・ 登山講習案内（教育遭難対策委員会）	18
・ 統一クリーンハイク案内（自然保護委員会）	19
・ 山を歩いて感じたこと（編集子）	20
・ 4月・5月予定表	22

『山行報告』や『集会報告』などの投稿をお待ちしています！

その際の『書式』は、可能な限り次の通りをお願いします。

ワード、A4、横書き、MS 明朝、12 ポイント、余白：上下左右各 25mm
写真などを挿入しても、別にお送りいただいても結構です。

『表紙用写真』も募集しています！（写真説明を添えてください）

毎月 **20 日頃**を目処にメールでお送り願います。

<送付先> 機関誌委員会 廣木國昭委員長 danphiro@jcom.zaq.ne.jp
委員：安彦秀夫 mt25hm4abichan49@gmail.com

<表紙写真説明>

2017 年 9 月 19 日（火）～10 月 1 日（日）の 13 日間で、千葉県連の仲間 11 名で、赤道直下のタンザニアにあるアフリカ大陸最高峰の『キリマンジャロ 5895m』登山と、樹齢数百年、時には千年を超えると推定されるバオバブの巨木群のある『タランギーレ国立公園』でサファリを楽しみました。

写真は、テント 6 泊利用でのキリマンジャロ登山途中の 4 泊目の『バランコ・キャンプ 3900m』の手前に林立する『ジャイアント・シネシオ』の中を歩くメンバーです。

詳細な報告は、『ちばニュース/2017 年 11 月号』に掲載されています。速報として 10 月号にも、表紙を含めて記載されています。千葉県連ホームページの『ちば news』で閲覧できます。是非、そちらを読んでみてください。（海外委員会：安彦秀夫）

千葉県連勤労者山岳連盟

第 57 期（2023 年度）会代表者・理事・役員 合同会議議事録

日時 2023 年 3 月 4 日（土） 13:00～15:00
会場 ZOOM 利用によるオンライン合同会議
進行 鶴田副理事長 （ちば山の会）

< 議事 >

資格審査報告 会代表者（代理者）16、理事 16（18-2 役員）、役員 8 ：総数 40 名
→出席者 34 名、 欠席 6 名（代表者 5 名、理事 1 名）

< 注 > 役員・理事で会代表を兼任して代理者を立ててない場合、代表者欠席としました。

鶴田副理事長より、合同会議の成立報告

議長・書記選出 議長：羽鳥理事（東葛山の会）
書記：藺田理事（ちば山の会）・西岡理事（ちば山の会）

広木会長 挨拶

いくつかの重要案件も提案されていますが、先ずは皆さんの会が活動しやすく、楽しい山行を行っていくために県連はどのようにしたらよいか、時間の許す限り協議をお願いしたい。

< 1 > 第 56 期 活動報告・第 57 期活動方針 説明 （ ）は報告者名
議案書に沿って、活動報告及び活動方針が説明された。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| ①県連活動報告・県連活動方針（野田理事長） | < 議案書 p. 2・3 > |
| ②事務局活動報告（広木会長） | < 議案書 p. 4 > |
| ③ホームページ(HP) 部会（伊東委員長） | < 議案書 p. 5 > |
| ④組織委員会（野田理事長） | < 議案書 p. 6 > |
| ⑤教育遭難対策委員会（伊東委員長） | < 議案書 p. 7 > |
| ⑥ハイキング委員会（田中委員長） | < 議案書 p. 8 > |
| ⑦自然保護委員会（菅井委員長） | < 議案書 p. 9 > |
| ⑧女性委員会（広木会長） | < 議案書 p. 10 > |
| ⑨機関紙委員会（広木会長） | < 議案書 p. 11 > |
| ⑩海外委員会（安彦委員長） | < 議案書 p. 12 > |
| ⑪房総の山復興プロジェクト（安彦委員長） | < 議案書 p. 13 > |

< 2 > 第 56 期 収支決算報告と会計監査報告

議案書に沿って報告された。

1. 収支決算報告 (小林会計担当) < 議案書 p. 14 >

< 収入 >

- ① マイナスは、事業収入（カレンダー収入）が減ったため。
- ② 新特別基金還元金が、会員減によりマイナス。他は予算通りであった。

< 支出 >

- ① 引き続きコロナ禍の影響で活動が縮小し、オンライン会議が増えて交通費の支出が減った。
- ② 通信費は、「ちばニュース」の発送などを郵送で行っていたが、メールで配信するようになり、その分減っている。
- ③ 集会関係費は、全国連の集会等が遠い場所で行われたため、参加出来ずあまり使わなかった。
- ④ 委員会活動費は、オンライン会議が多く全く使わなかった。
- ⑤ 安全装備費は、教育遭難対策関係（雪上訓練・登山講習会等）で使った。
- ⑥ 交通費は、船橋市西部公民館で 4 回理事会を行い、その他はオンライン会議を行ったため、半分ぐらいの使用だった。
- ⑦ 機器購入費は、事務所用にパソコンを購入した。
- ⑧ 山の日活動費は、入場料 1,000 円のところ県連から一人当たり 500 円を補助し、DVD も追加作成した。
- ⑨ 50 周年活動費は、DVD の作成予定だったが、使わなかった（縮小して作成予定）。
- ⑩ 総会関係費は、今年は総会がなく使わなかった。
- ⑪ 予備費は、全く使わなかった。

2. 財産目録（資産内訳） (小林会計担当) < 議案書 p. 15 >

繰越金と積立金についての報告があった。

3. 会計監査報告

高橋芳恵さん（岳人あびこ）から次の報告があった。 < 議案書 p. 15 >

- ・ 監査日 2023 年 1 月 28 日
- ・ 監査人 高橋芳恵さん（岳人あびこ）
- ・ 結 果 公正かつ適正であることを認める。

＜ 3 ＞ 第 56 期決算・第 57 期予算（案）説明 （小林会計担当）＜議案書 p. 16＞

＜収入＞

- ① 事務所使用料（装備保管）12 万円は、船橋勤労者山の会の会員数が激減し、会員の負担が大きくなるため、当該会からなんとかしてほしいとの依頼が役員会にあり、今期は無料にした。

＜支出＞

- ① 集会関係費はこれから活発になることを見込んで 10 万円にした。
- ② 57 期予算案の支出の最後の行に次期繰越金 1,074,901 円を記載し、支出には入っていない。

これは、例えば、56 期では、連盟費としての収入が、2,422,800 円であるのに対し、昨年度の繰越金 1,494,901 円を 57 期の収入に入れると、57 期の収入が 4,048,303 円と大きくなり、実質の 2,553,402 円の収入と大きくかけ離れることになるので、57 期支出予算の支出計 2,973,402 円とは別に次期繰越金として記載した。

＜ 4 ＞ 第 57 期(2023 年度) 役員一覧表 説明 （野田理事長）＜議案書 p. 17＞

今年は役員の改正年度ではないので、2022 年度の役員が 2023 年度も引き続き行う。議案書の表には空席がいくつもあるが、来年の総会時の役員選出時にこの空席をぜひ埋めてもらいたい。

＜ 5 ＞質疑応答

i. 事前に受け取った質疑に対する回答

＜議案書質疑回答書-1＞にて回答済みです。（野田理事長）

- ① 東葛山の会
- ② 東葛山の会
- ③ 東葛山の会
- ④ かがりび山の会
- ⑤ かがりび山の会
- ⑥ かがりび山の会

※ちば山の会から遅れて提出された質疑は、正式なものは役員会で合意してから回答書を配布するが、今回は口頭で仮の回答として説明する。

- ⑦ 山の日の活動費のチケット代補助の他の 10,000 円は何に使われたか？

回答：山の日の DVD 製作の追加費用に使った。

- ⑧ 繰越金 100 万円の今後の使途は？

回答：②で回答済み

⑨ 女性委員会

回答：⑤で回答済み

⑩ 全国連盟費について

回答：全国連盟から決議決定書が送られてくるが、その中に決算内容があるので参照していただきたい。

⑪ ちば山の会員は県連の活動に意義を感じられないという人が過半数いる。会員に対してメリットを提示できるものがあるか？

回答：個人的な意見としては、ちば山の会はパワーがあるので、そのパワーを県連活動に生かしていただければ、もっと意義が見いだせるのではないかな。

⑫ 予備費を 30 万円計上しているが、今後何に使用するか？

回答：予備費は予備費なので用途を決めたものではない。

⑬ 安全装備費の具体的な内容は？

回答：教育遭難対策費として使用した。

(雪上訓練、登山講習会、事故防止経験交流集会など)

※これらの質問については役員会で協議し、改めて正式な文章で配布したい。

ii 本日の合同会議を踏まえた質疑・回答

① ちば山の会 (佐藤)

船橋勤労者山の会の事務所使用料が無料になった経緯は？

せめて支払いの猶予、または減額が一般的ではないか？ 公平性がない。

回答：船山から会員数が激減したため、会員の一人当たりの負担が大きくなったので対応をしてもらいたい…と要望があり、役員会で相談して今年度に限り免除しようと決定。2月の理事会で承認された。毎年見直す。

・ちば山の会 (佐藤)

小さな山岳会では、共同装備等を装備担当が自宅に保管して貸し出しをしている等ご苦勞をされているのに、船橋勤労者山の会だけが優遇されるのは何故か？

「ちばニュース」によると「過去の経緯があり…」と書かれているが、これは既得権益があるように思える。過去の経緯とは何か？

回答：私の今言った回答は役員会・理事会の回答である。

・ちば山の会 (佐藤)

せめてその経緯を説明してほしい。

回答：船橋勤労者山の会 (酒井理事)

会員減少の経緯や、いつ頃から、どの程度の荷物を置いているかなどの説明があった。他の会でも使いたいというのであれば、預けてある荷物を半分ぐらいに減らすことは可能である旨の意見があった。

・ちば山の会（佐藤）

全体的な「経緯」そして「ちばニュース」にある「特別に配慮されなければいけない経緯」は伝わってこない。

回答：広木会長

かつて県連の事務所は、ちば山の会の事務所に同居していて、その後、下総中山に引っ越した。詳細な経緯は分からないが、下総中山の事務所が広がったこと、県連の事務局長および理事長が船山の人であったこと、船山にとって県連事務所が位置的に良かったこと等で、そこに置くことを許可したものと思われる。下総中山から現在の幕張本郷に引っ越した際、どうするかとの議論はあったが、今まで置いていたものを追い出すことはできなかった。

② ちば山の会：西岡

理事会において船山の事務所使用料はとりあえず1年となったが、議案書には書かれていない。

回答：議案書質疑回答書の③に記載しています。

・ちば山の会・西岡

理事会で決定した内容であるので、議案書質疑回答書のような付帯資料に記すべきではなく、議案書本体に何らかの記載があるべきではないか。

回答：質疑回答書を議案書の一つとして見てほしい。

③ ちば山の会：西岡

予算案の作成方法について、議案書にある予算案の金額は、各委員会等から必要経費として要求があり、これを積み上げてできた金額か？

回答：前年度を踏襲し予算案を作った。

・ちば山の会（西岡）

参考までに、ちば山の会では、リーダ部等各部から来年度実施したい事項とそのために必要な予算が要求され、それを積み上げて予算案を作っている。

こうすることで、各部で何ができて、何ができなかったか、お金の面から明確になる。また予算オーバーした時、次期予算案作成に活かせる。県連でもこのような予算編成方法を行って見たらどうか？

回答：ちば山の会はできて、県連は力がないのでできない。

回答：広木会長

57期予算案は、昨年度の予算を参考に、本年度に委員会で計画している活動計画を基にして会計で予算を組んだものである。来年度は本年度の消化率、会員の満足度なども取り入れ、財政面からも検討し予算を組んでいきたい。

④ 岳人あびこ（高橋）

装備の置き場はどこの会も困っている。船橋勤労者山の会さんも各会が模索していることを確認していただきたい。

当会では、県連への上納金（連盟費）は会費の 40 パーセントに当たる。前年度はたくさんの講習会に参加でき連盟費が有効に使われていることを確認できた。活発に研修活動をしていただいて、それに参加して皆が納得するという形で進んでいければと思う。

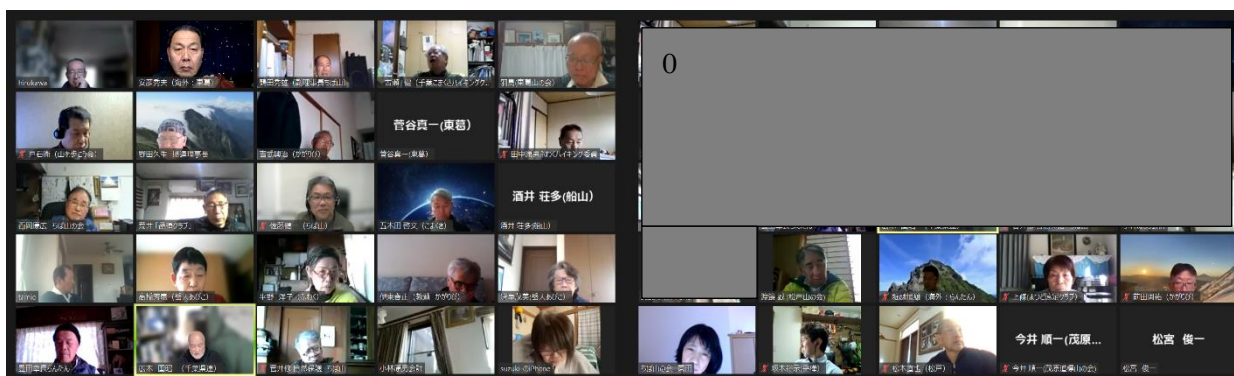
今の会員を維持し、増やすことに苦心している。

< 6 > 第 57 期（2023 年）合同会議 資料集 説明（野田理事長） 資料集参照

<連絡>

決算・予算案の賛否は、4 月 4 日までに各会より役員会宛のメール連絡によって行う。事前に送ってある各会の持ち数によって投票する。

合同会議議事終了 議長・書記解任（鶴田副理事）



『会代表者（代理者）・理事・役員合同会議』の Zoom の 2 画面を合成しました。Zoom 画面に最大 25 名を表示できますが、今回の参加者は 34 名でしたので、画面の左右にある『◀』と『▶』をクリックして、参加者全員を確認しました。34 名の中で、16 名（25×2-34）は 2 つ表示されています（塗りつぶし部分）。

<閑話休題：WBC (World Baseball Classic) >

『侍ジャパン』は、念願の『世界一』を奪還しましたね。野球ファンは勿論のこと、ルールを知らない人、これまで野球放送を見なかった人、全く関心のなかった人、老若男女の多くの、否、殆どの人が、テレビ中継に連日くぎ付けになったことと思います。宮崎合宿から始まり、東京ドーム、そしてアメリカのマiamiでのゲームでの『侍ジャパン』選手の一挙手一投足に目を話せなかったのではないのでしょうか？特に、準決勝の逆転劇、そして決勝の豪華投手リレー、更に、大谷 VS トラウトの漫画でも描かれなような WBC 最後のクライマックスの夢の対決に酔いしれました。何度もテレビ番組をハシゴして勝利の余韻に浸りました。そして、今でも余韻の中にいる私があります。（編集子）

千葉県勤労者山岳連盟 2023 年 3 月 理事会議事録

議事録作成者：岳人あびこ 深草

日 時 2023 年 3 月 16 日（木）

場 所 オンライン会議 19:00～21:00

参加者一覧（2023 年度）

県 連 理 事		×	松宮（市川）	×	廣川（君津）	×	吉武（かがりび）
○	深草（あびこ）	○	藺田（ちば）	○	西岡（ちば）	○	五木田（こまくさ）
○	羽鳥（東葛）	○	酒井（船橋）	○	田中（ふわく）	×	今井（茂原）
×	渡邊（松戸）	○	鈴木（まつど遠足）	○	小林（山翠会）	×	豊田（らんたん）
×	佐藤（らんたん）	○	戸石（民医連）	○	荒井（岳樺）	○	栗坂会長（君津）
県 連 役 員		○	広木（会長）	○	野田（理事長）	×	鶴田（副理事長）
○	菅井（自然保護）	○	伊東（教遭）	○	安彦（海外）		
全国連役員		×	石川（副理事長）	×	山本（理事）		

○：出席、×：欠席 理事と役員兼務の場合は理事の方に記載

*理事以外の出席者：君津ケルン山の会 栗坂会長

*中途退席者：船橋勤労者山の会 酒井理事（19:45 退席）

議 事

1. 理事長挨拶（野田）

- ・オンライン合同会議参加ありがとうございました。
今後、今年度の委員会活動の積極的な取り組みをお願いします。
- ・3 月になり暖かくなってきました。早春の登山を楽しみましょう。又、例年より雪が少ないので注意してください。
- ・“岳人あびこ”の会長が、3 月より高橋芳恵さんより村越百々代さんに交代となりました。

2. 役員会報告（広木）

- ・合同会議について
皆様のご協力により時間内に無事終了する事ができました。お礼申し上げます。
いくつかの指摘事項については、今後、理事会を中心に解決していきたいと考えています。

3. 各委員会報告

1) 教育遭難対策委員会（伊東）

- ・2/27（月）委員会を開催しました。
- ・「クライミング講習（入門編）」を以下の内容で行います。又、本講習修了後次ステップの講習会開催を考えています。

日 程：4 月～9 月（6 回） 場所：机上講習・人工壁

受講者数：10名（各会割当 2名）応募者数超過時：委員会が参加者調整する
募集案内：3/22（水）に、理事・会代表者にメール配信。ちばニュース掲載
・登山講習を以下の内容で検討しています。。

日程：6/4（日） 場所：奥久慈籠岩山（案）

趣旨：引率者を対象とした岩稜地帯通過に必要なスキル習得。

2) 自然保護委員会（菅井）

以下の内容で自然保護委員会の開催を予定します。

開催日時：3/24（金）19:00～21:00 オンライン

議 題：クリーンハイク、房総の山復興PJ 他

3) ハイキング委員会（田中）

以下の内容でハイキング委員会を開催します。

開催日時：4/11（火）18:00～20:00 開催場所：県連事務所

議 題：ウィーダー山行実行計画検討 他

4) 組織委員会（野田） 今年度活動準備中です。

5) 女性委員会・機関誌委員会（広木）

今年度活動方針実現に向け委員強化を含め具体的な活動計画を検討中です。

6) 海外委員会（安彦）

今年秋実施を予定している海外トレッキングの具体化に向けて下調べ中です。

4. 役員会からの連絡（野田）

1) 2023 年合同会議

①反省事項

- ・質問の時間が少なかったので来年総会は3時間にする予定です。
- ・事前質問が少なかったので、来年総会では事前質問の提出促進を願います。

②決議事項の賛否報告

- ・4/4（火）までに役員会にメール連絡願います。4月理事会で結果報告します。
- 現時点で4会より報告が届いています。

③検討事項等の対応（3月理事会再確認事項）

- ・57期予算繰越金の扱いについて

2月理事会の決定通り合同会議議案書内容とします。

各理事より次のような意見が出されましたので、今後の理事会において、継続協議する事となりました。

- *明確な使途目的を持った内部留保金を常時確保しておく必要はあるのでは…。
- *長期的観点で県連としての内部留保金枠を検討する必要があるのでは…。
- *全国連加盟一律分担金に充当したらどうか…。
- *高齢化による会員減に伴う収入減に備える必要があるのでは…。
- *新たな県連活動を設定しそれに割り当てたらどうか…。
- *加盟会に返金してはどうか…。等

- ・船橋勤労者山の会の県連事務所使用料金について

2月理事会の決定通り、合同会議議案書内容とします。

本件に関連し広木会長より以下のコメントがありました。

過去の経緯を踏まえて困っている加盟会の救済処置として、今回の議案内容となった。今後も一定の利用基準に基づいた、加盟会の県連事務所利用を考えている。尚、この機会に事務所利用基準を見直すようにする。

- ④ちば山の会からの質疑に対する『質疑回答書-2』を発行します。

確認をお願いします。

2) 各会の役員調査票提出依頼

今年度の役員等の情報提供をお願いします。役員改正が無い会に於いても現状報告をお願いします。

提出先：役員会

提出期限：3月31日（金）

尚、今後変更になった場合は、速やかに提出をお願いします。

3) JWAF journal 2月号について

①電子媒体：全国連盟より野田理事長経由にて各会に既に配信されています。

②紙媒体：1部が各会に全国連盟から送付されているようですが、配布先が不明などで実態が把握しきれいていません。

野田理事長が全国連に『送付先・部数』などを確認します。

4) 君津ケルン山の会労山脱退

当日、君津ケルン山の会・栗坂会長より3/31（金）付けで下記理由により労山脱退をする旨の報告がありました。

また、会は今後、新会長の下、活動を縮小し継続する…との説明もありました。小林会計担当からの「労山は1月より新年度が既に始まっており、脱退するに際し連盟費の精算が必要です」との発言に、栗坂会長より別途回答を頂けることになりました。

＜労山脱退理由＞

① 多数の会員が高齢化のため退会する（6人＋αの退会见込み）。

②活動の中核を担う会員が退会するため、会運営に支障が生じる。

③上記理由により、県連に理事を派遣できない。

5) オンライン講習会（安彦）

オンライン講習会開催を検討しており、取り上げてほしい『テーマ』を募集しています。併せて、『講師』も募集しています。

尚、鶴田副理事長による『労山基金』に関する講習は、実施の方向で調整中です。

*企画内容：隔月（2～4回/年）平日19:00-21:00（90分講演、30分質疑応答）

*テーマ例：労山基金、会員高齢化対策、海外登山参加時の不安解消等

5. 各会理事からの活動状況報告

1) かがりび山の会

①過去の紙データなどを電子化し、会共有資料として保管する方法を検討しています。

②2月末で10人の退会者があった。今後、新会員募集を積極的行います。

2) 岳人あびこ

① 3/5（日）総会開催

役員交代がありました。年間山行予定が昨年より増加しました。

『1人1役』を活動の基本としています。

② ゆるゆる山行

“ゆるゆる山行”と銘打って、リハビリ者・新入初心者・高齢者向け山行を実施しています。会員からの評判が良好です。

3) ちば山の会

会員の高齢化が進んでいる。入会者に若い人はいるが定着しない。

現地では若い登山者を多く見るが、山の会に入会者が少ないように思う。

何が問題か見えていない。

6. 全国連理事からの連絡・情報提供等

全国連理事欠席の為報告なし

7. その他協議・連絡事項

1) 2023 年度理事会予定

4 月理事会：20 日（木）

5 月理事会：18 日（木）

オンライン、または、対面方式のどちらで行うかは後日連絡します。

以上-

＜閑話休題（続き）：大谷翔平選手 2021 年度メジャーリーグ MVP 記念帽子＞

今回の WBC で投打に大活躍した大谷選手は、我が故郷の岩手県奥州市（旧水沢市）姉体町出身で、私の小学校の後輩です。ということで、勝手に応援しています。

一昨年 2021 年度は、MVP を獲りました。写真は、

その時の記念キャップで、昨年 2022 年夏に、高校時代の恩師に、『小学校の先輩だから貴殿にプレゼントします』と贈っていただきました。

その先生は、今年『米寿』ですので、『先生ご夫妻を招待して、盛岡で、この秋に米寿祝クラス会を開催しよう…』と同級生で話し合っています。

昨年 2022 年度は惜しくも逃しましたが、今回の WBC では MVP を獲りました。この勢いで今シーズンは獲ってほしいです。熱い応援を今年も引き続きしていきます。（編集子）



房総復興プロジェクトを振り返って

田中 康男 （ふわくハイキングサークル）

道普請は、「ふわく H.C.」入会以来していましたが、本格的に始めたのは、『郡界尾根縦走』と称した『浜金谷から清澄寺までのイベント』からです。

『郡界尾根縦走』が終わっても続けていましたが、2019 年の風台風・雨台風で、町内や房総の山が壊滅的な打撃を受け、町内を片付けてから見に行き、酷さに呆然！ムリと思った。でも、これで最後！と、「ヘルメット」を更新しスタートしました。

遠くは、坂田の大山、高塚山、近くは市原市の山で、100 k m以上を歩き、50 k m以上はチェーンソーを手持ちで歩き、すぐ先で使用する…を繰り返しました。

道迷いしないように、持って行った燃料の残量や疲れ具合を見ながら、要所要所の倒木を片付け、後日、時間が出来たらもう少し入念に…と、2～3回は同じ山に行きました。（不明者の搜索や線香をあげたりもしました。）

道普請して気付いたことがあります。

いくつかの山城に有志がいて、スタイルがあるようです、孤軍奮闘の心境になった時は、仕上がりを見たり、会いに行き話を聞いたりもしました。

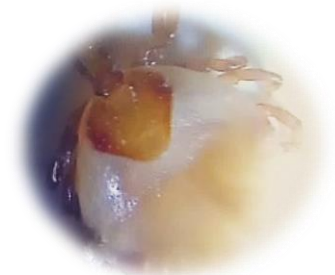
中にはあれから*年たっているのに、『知っているコース』を SNS 上で初めてやったかのように聞こえるアピール等をする人も…。関わりたくない話も沢山、聞こえてきました。

私と同じような人。真似したい人。竹の椅子・テーブルを作った人。片付かない倒木に、フクロウの置物を置いた人。チェーンソーの達人。さまざまな人が復興に手を貸しました。

「4年もたっているのに、誰も何もしないわけがない…」と書きましたが、そういう場所がある…との情報があり、自分でも勘を働かし、『松岡の大塚山』へ。僅かな踏み跡のみで、チェーンソーを手持ちで、2日間、延作業時間3時間半整備。久しぶりに、道普請をしました。

暖冬で、足と脇腹にダニが喰らいついていました。むしり取ったらくちばしが取れました。準備していたスマホ用顕微鏡で撮影。

診なれている犬猫病院へ行けと！ ワン！



田中さんは、台風によって房総の山々の登山道が壊滅状態になった後、孤軍奮闘で登山道の復旧に携わってきました。多くのボランティアが復旧活動をしています、まだまだ台風前の状態には復旧していない所もあるようです。千葉労山としても、房総の山々が安全で楽しめるように1日も早く戻ることを目指して復旧活動に取り組む必要があると痛切に感じています。（編集子）

房総の山復興プロジェクト活動 「松岡の大塚山」

田中康男（ふわくハイキングサークル）

2022/3/12、房総スカイラインから登る「松岡の大塚山」、速足往復 30 分と登りが無いから、私はめったに行かないが行って見た。

踏み跡は比較的多く、林道入口ゲートには、道案内のマジックインキ文まで書かれている。楽な谷沿いコースには少し倒木はあるが、稜線コースに誘導されていて、問題無く登れた。チェーンソーを持って来てたから少し片付ける。

反対側の登山口「女喰」からのコースがどうなっているのか気になり登って見ることにする。3/16、YAMAP を作動させスタート。2 番目のトンネル手前からほぼ台風のままの倒木。まず全体把握で頂上まで行ってみる。一番の難所は倒れたモミの木に、杉の木が重なり、その隙間を、先人がすり抜けたままの箇所、走り高跳びのように抜けたが、乾いた杉の葉が襟元からたくさん入った。（トンネル潜るせいか YAMAP 不調）。下山しながら、約 1 時間強の片付け。燃料が足りず。

再度 3/17 も行く、約 2 時間半の道普請。久しぶりに、道普請終わったばかりの不完全ではあるが道が出来た。



「棒の折山」に登って

廣川 登志男（君津ケルン山の会）

昨年9月末に棒の折山に登ったが、今回の山行では、これまでにない面白い経験をする事ができた。

棒の折山は、東京都と埼玉県の境に位置し、標高 969mの比較的低山の仲間に入る。青梅駅からタクシーで約 50 分乗って登山口の名栗湖畔（有間ダム）に着く。ここから標高差 642mを二時間ほどかけて登る。途中ちょっとした峡谷があり清流が勢いよく進むところもあり、低山だがスリリングな登りも味わうことができる。

山頂からの展望はよく開けていて奥武蔵の山々を見晴らすことができる。また山頂には東屋やベンチがあり、休憩にちょうど良く、ここで昼食を摂った。

下りは青梅線の川井駅に向かって降りていく。奥茶屋キャンプ場のある県道 202 号線までの凡そ一時間の道のりにある鬱蒼とした杉の樹林帯を抜ける。途中、清冽な清水が流れる水場に出て、その後は小さなワサビ田が段々畑のように続く。清らかな水の流れが山葵という産物を生みだしているのだと、今更ながら山、とりわけ樹林帯の素晴らしさを感じた。

県道を下り川井駅近くで、高さ 3 mはあろうかという石垣に出会った。一つの石の大きさは 15 cm～20 cm程で、十七、八段ほど組み上げていた。相当に人手の掛かった石垣であり、近くにはそれよりも低いが何ヵ所かの石垣が散見された。思い返すと先ほど通ってきたワサビ田の段々の境目もやはり同様な石垣で作られていたように思う。これら石垣はこの地方の特色なのかと興味を覚えた。

帰宅後、インターネットで調べると、「多摩川流域の石垣調査」なる文献を見つけることができた。著者は岡崎学氏（羽村郷土研究会・2002 年）。内容の一部を要約する。

多摩川の延長は 138 kmある。古多摩川が造成した河岸段丘崖の上下には人々の生活があり、そこには、土地を確保するために石垣が数多く築かれていて、その殆どに多摩川の石が用いられている。上流部では山出しのゴツゴツした石、中流部では角の取れた丸い石を用いている。

石垣の特に多い地域は西多摩地区で、奥多摩町・青梅市・羽村市・あきる野市が挙げられる。その中でも特に青梅市は、「石垣の街 青梅」といっても過言ではなく、それは裏を返せば「山の斜面にへばりついて、狭いところに石垣を築いて土地を確保し、坂道だらけの街の中に生活している」ともいえる。

青梅市の小学校（第一小学校）では、石垣が校歌にも歌われているとの記述が研究資料にある。卒業式や入学式当日、その石垣を背景に記念写真を撮影しているとのことだ。

石垣一つとってもそこには歴史があり、人々の生活がある。

加えて、その石垣を守っている人々の努力がある。

川井駅傍には今流行りのコンクリート製の土塁（崖）も見られた。公的機関がなす仕事では当然のごとくコンクリート製になるのであろう。しかし、古からの生活に裏打ちされた石垣文化は誰かが守っていかなければならないように思う。

また、その文化を誰かが記録に残すという地道な努力が必要なのだろう。

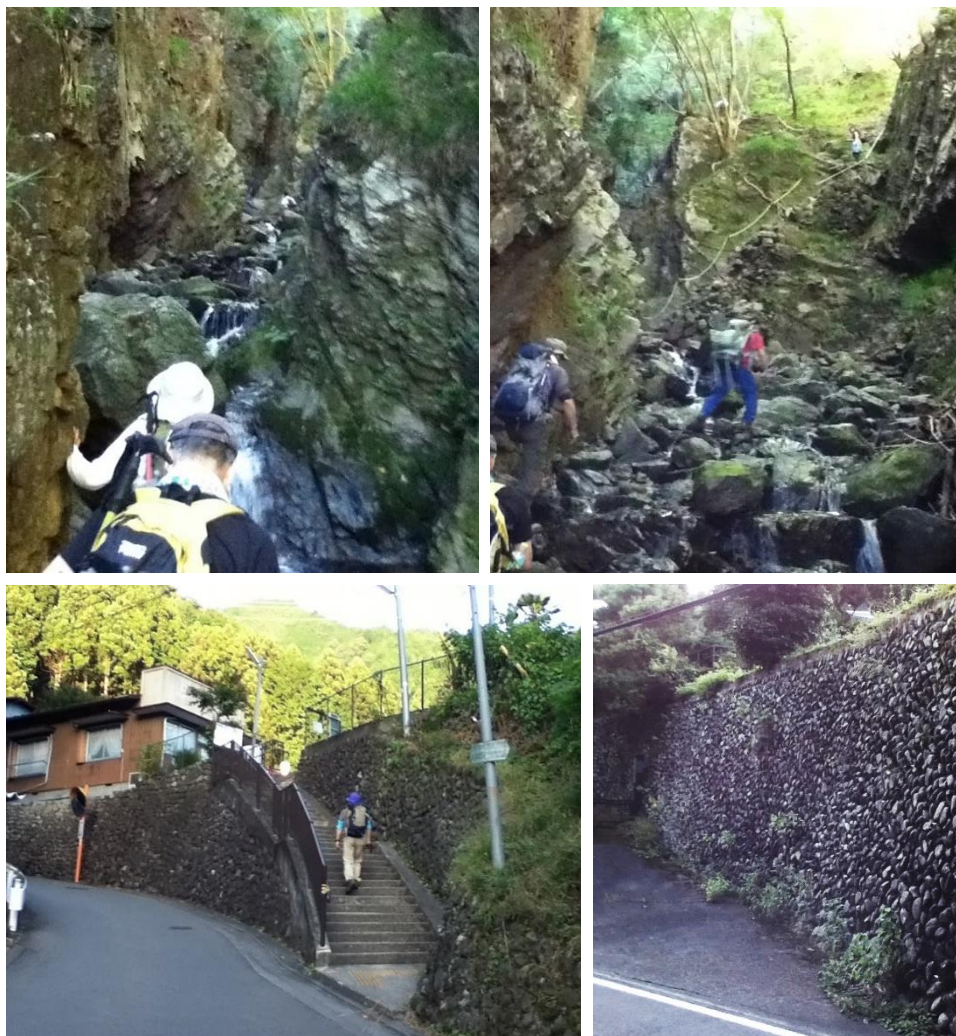
今回、たまたま目にした郷土研究会の資料だが、この地道な研究が後世にその文化を伝える役目を果たしていることにも深く感慨を覚えた。

山頂からの下山途中でふと覚えた興味が発展し、面白い学習に繋がった。

これまでの山行は、どちらかと言うと、「とにかく登る。そして、苦勞して登った後に待っているご褒美の眺望。更には下山後の温泉三昧」がその目的だった。

しかし今回は、その山域の 生い立ち、特色、そしてそこに息づく生活などを知ることで、一層山行の意義が深まった。（旅行をするということでも同じなのかもしれないが）

そして、その勉強（調査）で得る知識が、自身の成長に寄与できたと感動している。



この投稿は、筆者が『エッセイ教室』に通う中での作品で、執筆は、2014年12月26日のようです。山歩きの中で、ふと疑問に思ったこと、関心を持ったことを題材にして世界観を拓けている…ことが目に浮かぶようです。「君津ケルン山の会」は労山を脱退しますが、今後も山歩き、そして随筆制作に精を出されることを願っています。（編集子）

2023 クライミング講習(入門編)の案内

千葉県連 教育遭難対策委員会

近年、スポーツクライミングが一般化し、室内ジムなどでボルダリングやロープクライミングを楽しむ人々も多くなっており、新しく入会する会員の中には、室内ジムだけではなく、外岩でのクライミングも行いたい…という希望者が増加しています。一方では、高齢化で経験者が引退し、個別の会ではクライミング技術を教えることが難しくなっています。

そこで、『山岳事故を防ぐ』という山岳会本来の責務と、『クライミングをしてみたい』という要請に応えるために、県連主催によるクライミング講習を開催します。

記

1. 【講習の対象と条件】

- ・これからクライミングを始めたい、基礎知識と技術を身に付けたいと希望する登山会員。
- ・受講開始時に原則として 60 歳以下の方。
- ・6 回の講習会に参加できる方。
- ・登山基金に 5 口以上加入もしくは同等以上の保険に加入していること。

2. 【講習期間】 2023 年 5 月 20 日（土）～ 10 月 29 日（日）の 6 回

3. 【定員】 10 名（10 名以上の募集があった場合は調整します。各会 2 名まで）

4. 【参加費用】 無料

但し、実技講習の室内ジム施設利用料、教材費、交通費、食費などは各自負担。

5. 【机上講習場所】 アウトドアショップ ヨシキ&P2

6. 【実技講習場所】 室内クライミングジム（グリーンアロー海浜幕張店）、天覧山

7. 【申し込み】 各会理事より 4 月 14 日（金）までに教遭委員会 伊東へ

<itou2385@yahoo.co.jp>

申込書は各会理事に別途送付済み

8. 【講習日程】

	日 に ち	講習内容	場 所
第 1 回	5 月 20 日（土）午前	装備の説明	アウトドアショップ ヨシキ&P2（津田沼）
第 2 回	6 月 17 日（土）午前	トップロープ	グリーンアロー 海浜幕張店
第 3 回	7 月 9 日（日）午前	クライミング訓練	
第 4 回	9 月 2 日（土）午前	リードクライミング	
第 5 回	10 月 1 日（日）午前	訓練	
第 6 回	10 月 29 日（日）全日	クライミング実地体験	天覧山（埼玉県飯能市）

2023 登山講習の案内

千葉県連 教育遭難対策委員会

教遭委員会では、『自立する登山者のための実技講習』を活動方針として掲げています。今回、山行リーダーを対象に、危険地帯でメンバーを安全に通過させるためのロープワークを訓練します。

記

1. 日程：**6月4日(日)**

2. 場所：茨城県常陸大宮市 **籠岩山(かごいわさん)**

3. 集合：茨城県常陸大宮市 『道の駅常陸大宮～かわプラザ～』 9時

4. 実技：10時～15時30分

県連7点セットを使用した危険地帯の通過に必要なスキル習得

5. 定員：10名程度（山行リーダークラスの方）

6. 個人装備：雨具、行動食、県連7点セット（スリング120cm、60cm×2、補助ロープ10m以上、カラビナ×2、安全環付カラビナ）

＊貸出用も準備します。

7. 参加費：無料

8. 申し込み：各会理事より **5月20日まで**に教遭委員会 伊東へ
<itou2385@yahoo.co.jp> 申込書は別途送付。

9. 雨天の場合は中止。

10. 訓練コース

つつじヶ丘駐車場→釜沢越→籠岩山→籠岩→つつじヶ丘駐車場の周回コース



＜千葉県連統一クリーンハイク＞

『磯根海岸 波打ちぎわ クリーンハイク』開催案内

千葉県連 自然保護委員会

労山が、山でのクリーンハイクを行った結果、山には殆どゴミがなくなってきた現在、プラスチックによる海洋汚染が大きな環境問題となっています。

自然保護の立場から海岸でのプラスチックゴミの回収を行い、少しでも環境破壊を食い止めることに参加したいと思います。

そこで、今年は次のような計画を立てました。このコースは「ふわくハイキングサークル」で歩いたコースで、この時、かなりのプラスチックゴミがあったということを聞きました。

素晴らしい景色を見ながら、この地域のクリーンハイクを行う計画を立てました。

多くの参加をお待ちしています。

日時 **5月21日(日)**
(雨天中止)

集合 **JR大貫駅改札口外**
出発 **10:00**

コース JR大貫駅…大貫漁港…
磯根海岸…佐貫亀田大坪地区
…JR佐貫町駅

歩行時間 **約3時間**

持ち物 弁当 飲み物 雨具 帽子 手袋 トング

申込・問合先 各会の自然保護委員又は理事が纏めて自然保護委員会まで

菅井 修 メール:fa23475@wa3.so-net.ne.jp 電話:090-7847-9651

申込締切 **5月15日(月)**

電車時刻案内

電車時刻表は各自で確認してくださいネ！

＜往路＞ JR大貫駅への電車

*JR内房線快速 君津行き
千葉 8:44→蘇我 8:51→木更津 9:21
(木更津乗り換え便利 上総一宮行き)
木更津 9:31→君津 9:39→大貫 9:51
*館山8:53→大貫9:41

＜復路＞ JR佐貫町駅からの電車

*千葉方面 13:29 14:29 15:24
*館山方面 13:51 14:51 16:04
(上総一宮行き)

山を歩いて感じたこと 『国有林って…?』

安彦秀夫（東葛山の会）

2020 年春よりコロナ禍になり、遠くの山に泊りで行くことに不安があり、車利用の日帰りで、一人で近場の山々を歩くことが多くなりました。

栃木県の『太平山系』周辺に行くことが多かったのですが、『登山時報 2020 年 1 月号』の『地元会員特選 ミニガイド』に『宝篋山（茨城）』が掲載されており、その中に『小町山』を巡るコースが紹介されていました。この記事は、千葉県連所属の『岳人あびこ』と私が所属している『東葛山の会』の会員 2 名の連名執筆でした。

『宝篋山』には何度か登ったことはありましたが、『小町山』を歩いたことが無かったので、早速、どんなところか気になり、2020 年 2 月 10 日（月）に、記事に記載されているコースを歩いてみました。その後、登山口を『小町の館』に変えて、続けて 2 度（2/20, 2/28）歩きました。

歩いてみて、コース途中にある自然の造形物に、ユニークなネーミングの看板が数多くあり、思わずニヤッとするとともに、感心してしまいました。

その時に、地元の『小町里山愛好会』が作成したハイキングコース地図（イラスト）を入手し、多くのコースがあることを知り、今日まで通い続けています。

地元の皆さんが定期的にコースの整備をし、また、新しいコースの開拓をしているようで、新コースを知ると直ぐに歩くようにしてきました。

今年 2023 年に入り、パープルライン（表筑波スカイライン：自動車道）に沿ったコースを歩いていると、チェーンソーの音が聞こえてきました。「もしかして、新コースを開拓中では…」と思い、次に歩いた際に出会ったハイカーに聞いたところ、「最近開通しましたよ！」という期待通りの即答でした。

早速、新ルートを歩くワクワク感で再訪しました。具体的な場所は特定できていませんでしたが、チェーンソーの音が聞こえてきていた場所は分かっていたので、『踏み跡』に入りました。ところが、その後も分岐点が多くあり、その都度、往復を繰り返し、位置関係を把握し、且つ、正しい分岐点を知ることもできました。

低木や笹を刈り払い、切り倒した木で作られたベンチや椅子などが何ヶ所もありました。後で知ったのですが、「大きなモミジの樹が多くあり、紅葉は見事で、多くのハイカーに楽しんでもらいたい…」という思いで、開拓をしたそうです。『もみじの森』と命名しようかな…ということでした。秋が待ちどおしいです。



ここは国有林です。
ここは、茨城森林管理署が管理する国有地です。**立木竹の伐採・損傷、歩道の作設、備品・設備の設置等はできません。**
真壁森林事務所 TEL : 0296-55-0220
茨城森林管理署 TEL : 050-3160-6005

ただ、びっくりしたことがありました。新たなコースなどに、多くの看板が立っていたことでした。皆さんはどう思いますか？

この『宝篋山』と『小町山』を一緒に歩こうとした場合、連絡ルートはたくさんあります。しかし、標識が殆どないと思って歩いていただきたいと思います。『宝篋山』または『小町山』を単独で歩く場合は、要所要所に標識があるのですが、なぜか連絡ルートには皆無と言っていいほどありません。でも、しっかりした道ですが…。

前出の地元の『小町里山愛好会』の人が作成した地図（イラスト）はあるようですが、残念ながら、その地図を入手することはできていません。

ただ、『仲良し小道』と『鬼越尾根』の十字路分岐点に、印刷した地図をビニール袋に入れて、比較的太い木に貼ってあったモノを写真に納めることができました。但し、左右が若干歪んでいます…。

今年 2023 年に新たに開通したルートを「赤太線」で追記しました。

歩く場合は、必ず地図を準備してください。コース地図はイラストですので…。



『ここは国有林です。…』の看板にある事務所・管理署などと地元の『小町里山愛好会』の人々が話し合いをしているそうです。看板が立てられた背景は、どうも大きな（太い）木を切り倒し、ベンチなどを作ったからのようです。どのようなことになるのかを当面は見守るしかないようです。

国有林を多くの人々が享受できるように、国や各営林署などは前向きに対応してくれること強く願っています。（2023/3/27/Mon.）

県連活動予定表

4月			5月		
日付	曜日	県連活動予定	日付	曜日	県連活動予定
1	土		1	月	
2	日		2	火	
3	月		3	水	憲法記念日
4	火	合同会議議案書賛否投票期限	4	木	みどりの日
5	水	清明	5	金	こどもの日
6	木	役員会（ZOOM）13:00	6	土	立夏
7	金		7	日	
8	土		8	月	
9	日		9	火	
10	月		10	水	
11	火	ハイキング委員会18：00/県連事務所	11	木	役員会（ZOOM）13:00
12	水		12	金	
13	木		13	土	
14	金		14	日	
15	土		15	月	
16	日		16	火	
17	月		17	水	
18	火		18	木	理事会 19:00
19	水		19	金	
20	木	理事会 19:00 穀雨	20	土	クライミング講習（入門編）①
21	金		21	日	統一クリーンハイク 小満
22	土		22	月	教育遭難対策委員会（ZOOM）
23	日		23	火	
24	月	教育遭難対策委員会（ZOOM）	24	水	
25	火		25	木	
26	水		26	金	
27	木		27	土	
28	金		28	日	
29	土	昭和の日	29	月	
30	日		30	火	
			31	水	

事故発生時の連絡先

各委員会は、25日までに予定を連絡ください。

●事故一報は事故発生後1ヶ月以内に！

●全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

県連教育遭難対策委員会

メール： jwaf@jwaf.jp

メール： itou2385@yahoo.co.jp（伊東）

ファクス： 03-3235-4324

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

（ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509）

千葉県勤労者山岳連盟

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>

事務所に常駐者はいません